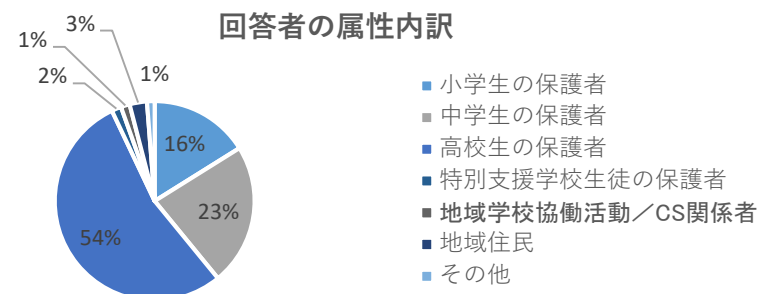


令和3年度学校における働き方改革に係る道民の意識に関する調査結果

■ 調査概要

- (1) 調査対象：① 北海道の学校に通う児童・生徒の保護者
② 18歳以上の地域住民
- (2) 調査期間：令和3年11月10日（水）から12月17日（金）
- (3) 回答方法：WEB回答フォームによる
- (4) 回答数：3,636件



■ 質問項目

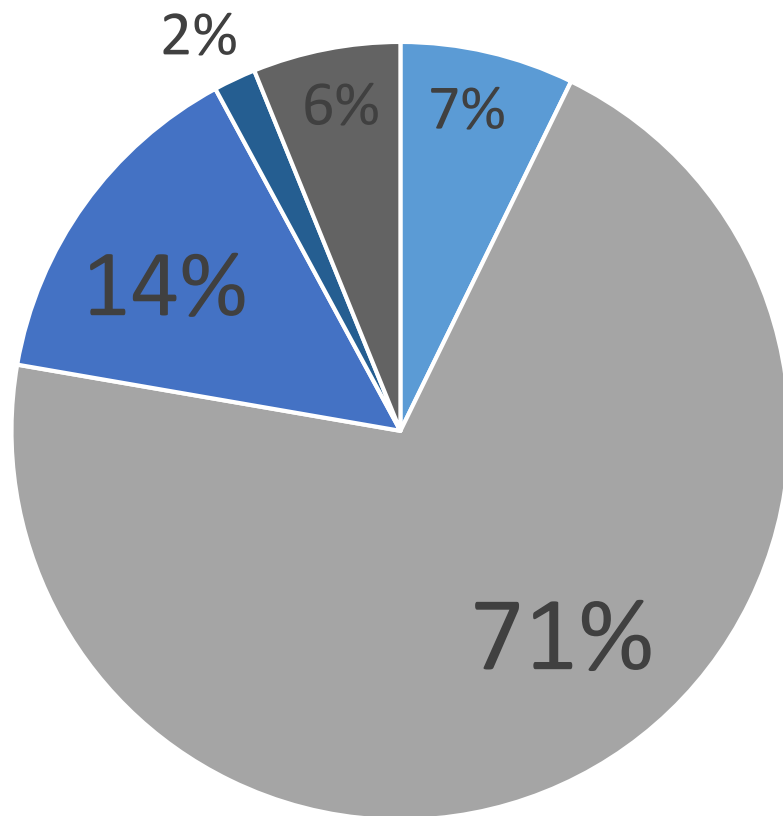
番号	項目名	質問内容	選択肢等
1	お住まいの地域	現在お住まいの地域を選択してください。	・空知 ・石狩 ・後志 ・胆振 ・日高 ・渡島 ・檜山 ・上川 ・留萌 ・宗谷 ・オホーツク ・十勝 ・釧路 ・根室
2	お住まいの市町村	現在、お住まいの市町村名をご記載ください。	市町村名を記載
3	御回答者様について	御回答者様について、該当する項目を選択してください。 ※保護者の方で、複数のお子様がいいらっしゃる場合は、上のお子様が通われている学校種を選択してください。	・小学生の保護者（義務教育学校の前期含む） ・中学生の保護者（中等教育学校の前期、義務教育学校の後期含む） ・高校生の保護者（中等教育学校の後期含む） ・特別支援学校生徒の保護者 ・地域学校協働活動/コミュニティ・スクール関係者 ・地域住民 ・その他
4	御年齢	御回答者様の御年齢を選択してください。	・18～29歳 ・30～30歳 ・40～49歳 ・50～59歳 ・60～69歳 ・70歳以上
5	教員に関するイメージについて	地域の学校やお子様が行われている学校の教員に対して、あなたはどのようなイメージを持っていますか。以下から最も当てはまるものを教えてください。	・多くの先生方は生き生きと仕事をしている ・多くの先生方は一生懸命頑張っており、大変そうだ ・多くの先生方は忙しく、疲れているようだ ・多くの先生方は一生懸命に仕事をしていない ・その他
6	教員志願者の減少について	全国的に教員の成り手不足が深刻な問題となっており、北海道においても、教員採用選考検査の受検者の著しい減少傾向が続いています。 この要因について、あなたはどのように思われますか？以下から当てはまると思われるものを選択してください。（複数選択）	・教職の魅力が十分に理解されていないため ・時代の変化や、多様な子どもたちの対応など、より高い資質が求められてきているため ・社会から求められる責任の重さなどから、教員になることに不安があるため ・教員の労働環境が過酷（ブラック）だというイメージが広がっているため ・若者の就職に関する志向が変化しているため ・その他（記述）
7	教員志願者の減少要因（その他）	前の設問で「その他」を選択された場合は、こちらに具体的な要因を記載してください。	その他の内容を記載

■質問項目

番号	項目名	質問内容	選択肢等
8	教員の勤務実態について	<p>様々な職種で働き方改革の取組が進められており、教員についても、民間労働者と同様に、時間外勤務は月45時間以内・年360時間以内と定められています。</p> <p>しかし、令和元年度の調査では、半数以上の教員が、上限時間を超過して時間外勤務を行っている状況が明らかとなっています。</p> <p>このような教員の勤務実態について、あなたはどのように思われますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の長時間勤務は問題だと思う ・長時間勤務は教員であれば仕方がない ・よく分からない ・その他
9	学校における働き方改革の目的について	<p>学校における働き方改革は、限りある人的・物的資源の中で、子どもたちの確かな学力や豊かな心の育成などにしっかりと取り組むために、「学校が真に必要な教育活動を効果的に行う」ことを目指した取組です。</p> <p>このような「働き方改革の目的」について、あなたはどのように思われますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動を効果的に行う、という働き方改革の目的は妥当である ・教育活動を効果的に行うために、働き方改革に取り組む必要はない ・働き方改革は、逆に教育の質の低下を招く恐れがある ・わからない ・その他
10	学校現場で進めている取組について	<p>北海道教育委員会の方針を踏まえ、多くの学校現場では「真に必要な教育活動を効果的に行うこと」を目指して、業務改善を進めています。</p> <p>地域にある学校やお子様が進んでいる学校で取り組んでいる業務改善の内容について、どの程度ご存じですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よく知っている ・少し知っている ・わからない ・その他
11	学校行事など地域等と関わりのある業務の見直しについて	<p>学校では、真に必要な教育活動を効果的に行うため、優先度の高い業務に集中して取り組むことができるよう、学校行事など家庭や地域の皆様と関わりのある業務についても見直しを行う場合があります。</p> <p>このことについて、あなたはどのように考えますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の機能を高めるため、積極的に取り組むべきだ ・やむを得ないが、できるだけ保護者や地域と話し合いながら進めて欲しい ・家庭や地域と関わりのある業務の見直しはできるだけしない方がよい ・わからない ・その他
12	学校と地域との協働について	<p>学校における働き方改革は、保護者の皆様や地域の皆様の御理解と御協力が重要です。北海道教育委員会では、地域住民が学校の教育活動を支援する「地域学校協働活動」や、保護者や地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」の導入を進めています。</p> <p>このような学校と地域との関わりについて、あなたはどのように思われますか？該当する項目を選択してください。（複数選択）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が学校に積極的に協力することで、学校教育が充実する ・地域と学校が互いに連携し合うことで、社会全体で子どもたちを育てることにつながる ・機会があれば、学校運営に参画（協力）したい ・お祭りなどの地域行事は、教員の参画が欠かせない ・運動会など学校行事は、地域が一つになる大事な機会だ ・学校と地域を過度に結びつけない方が学校教育は上手く行く ・子どもたちを地域全体で見守ることが大事 ・その他（記述）
13	学校と地域との協働について（その他）	<p>前の設問で「その他」を選択された場合は、こちらに具体的な要因を記載してください。</p>	その他の内容を記載
14	学校における働き方改革に係る御意見	<p>ここまで、御回答に御協力いただきありがとうございました。</p> <p>最後に、学校における働き方改革について、御意見がありましたらご自由にご記載ください。</p>	自由記載

(1) 教員に関するイメージ

地域の学校やお子様が通われている学校の教員に対して、あなたはどのようなイメージを持っていますか。

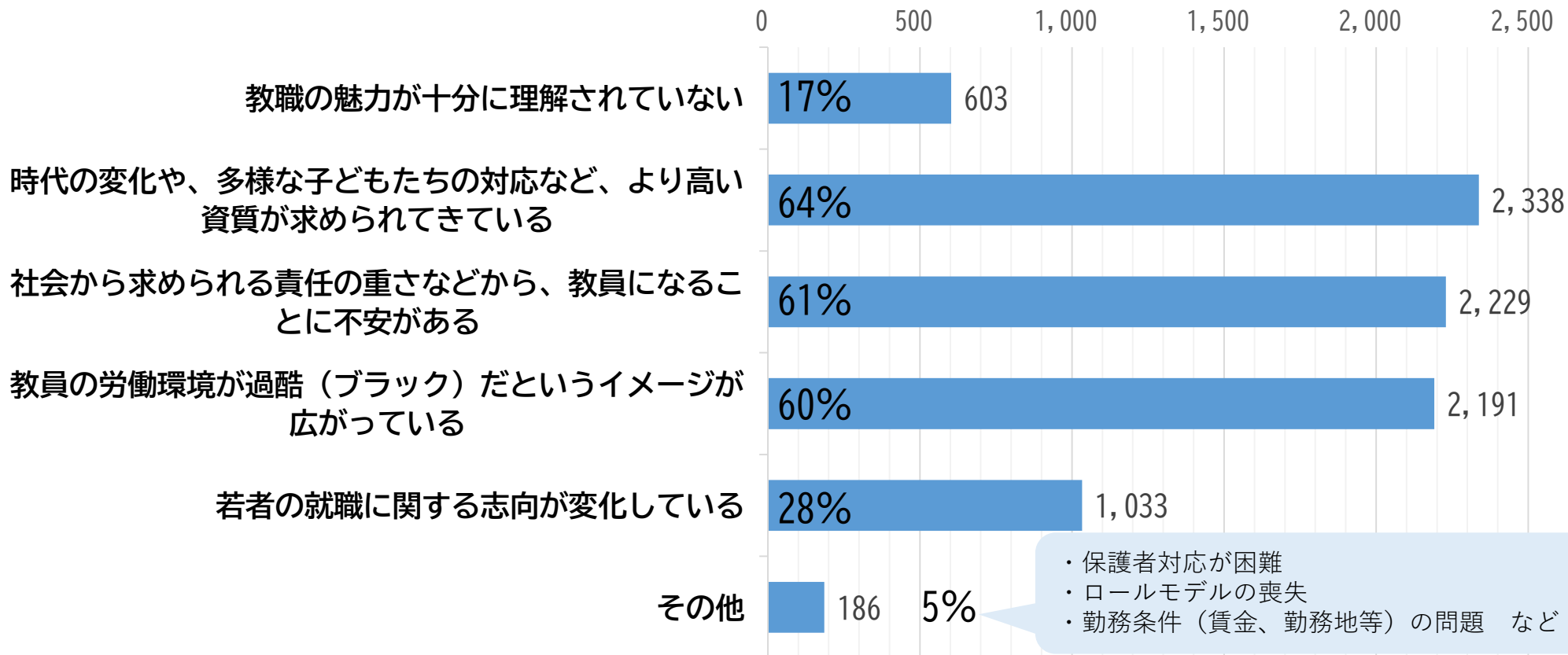


- 多くの先生方は生き生きと仕事をしている
- 多くの先生方は一生懸命頑張っており、大変そうだ
- 多くの先生方は忙しく、疲れているようだ
- 多くの先生方は一生懸命に仕事をしていない
- その他

8割以上の方が、「多くの先生方は一生懸命頑張っており、大変そうだ」、又は「多くの先生方は忙しく、疲れているようだ」を選択しており、教員の置かれている状況について心配する回答が多い。

(2) 教員志願者の減少理由（複数選択）

全国的に教員の成り手不足が深刻な問題となっており、北海道においても、教員採用選考検査の受検者の著しい減少傾向が続いています。この要因について、あなたはどのように思われますか？

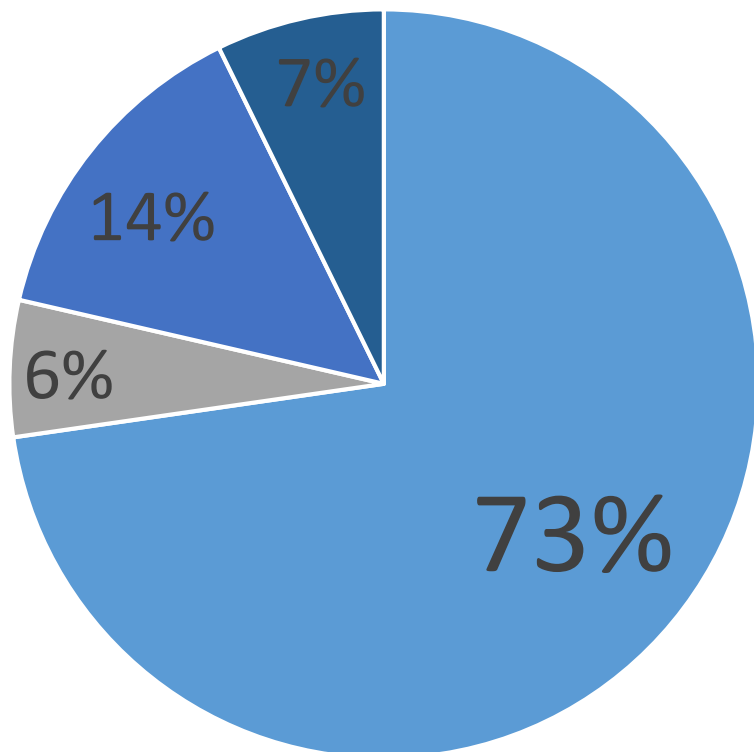


「時代の変化や、多様な子どもたちの対応など、より高い資質が求められている」や「社会から求められる責任の重さなどから、教員になることに不安がある」など、職としての困難性を選択する回答が多く、続いて教員の労働環境に関するイメージの悪化が多く選択されている。

(3) 教員の勤務実態

様々な職種で働き方改革の取組が進められており、教員についても、民間労働者と同様に、時間外勤務は月45時間以内・年360時間以内と定められています。しかし、令和元年度の調査では、半数以上の教員が、上限時間を超過して時間外勤務を行っている状況が明らかとなっています。

このような教員の勤務実態について、あなたはどのように思われますか？



- 教員の長時間勤務は問題だと思う
- 長時間勤務は教員であれば仕方がない
- よく分からない
- その他

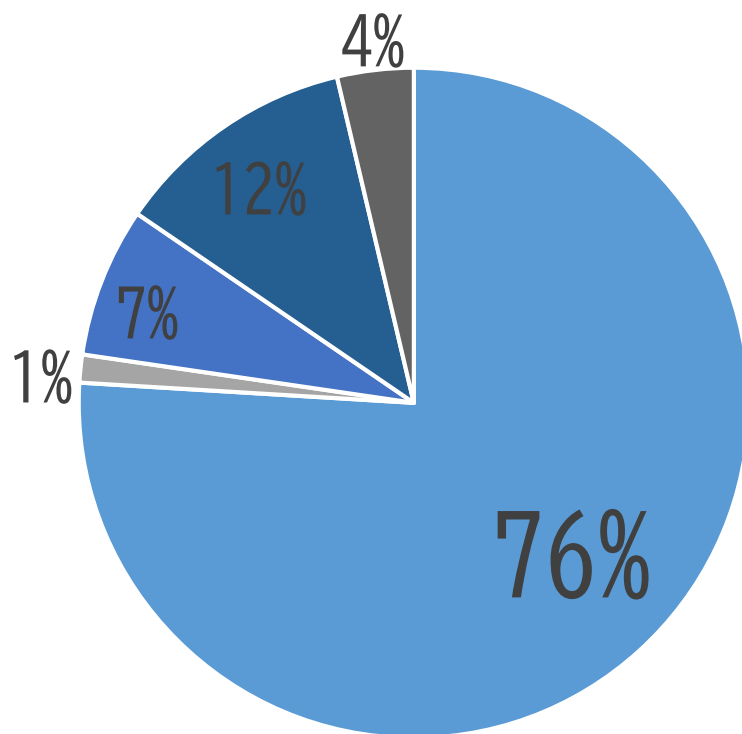
・他の業種も同じ
 ・生徒と向き合う時間を確保して欲しい
 ・行政の問題
 ・教員個々の問題もある など

7割以上の方が、「教員の長時間勤務は問題だと思う」と回答している。

(4) 学校における働き方改革の目的

学校における働き方改革は、限りある人的・物的資源の中で、子どもたちの確かな学力や豊かな心の育成などにより、しっかりと取り組むために、「学校が真に必要な教育活動を効果的に行う」ことを目指した取組です。

このような「働き方改革の目的」について、あなたはどのように思われますか？



- 教育活動を効果的に行う、という働き方改革の目的は妥当である
- 教育活動を効果的に行うために、働き方改革に取り組む必要はない
- 働き方改革は、逆に教育の質の低下を招く恐れがある
- わからない
- その他

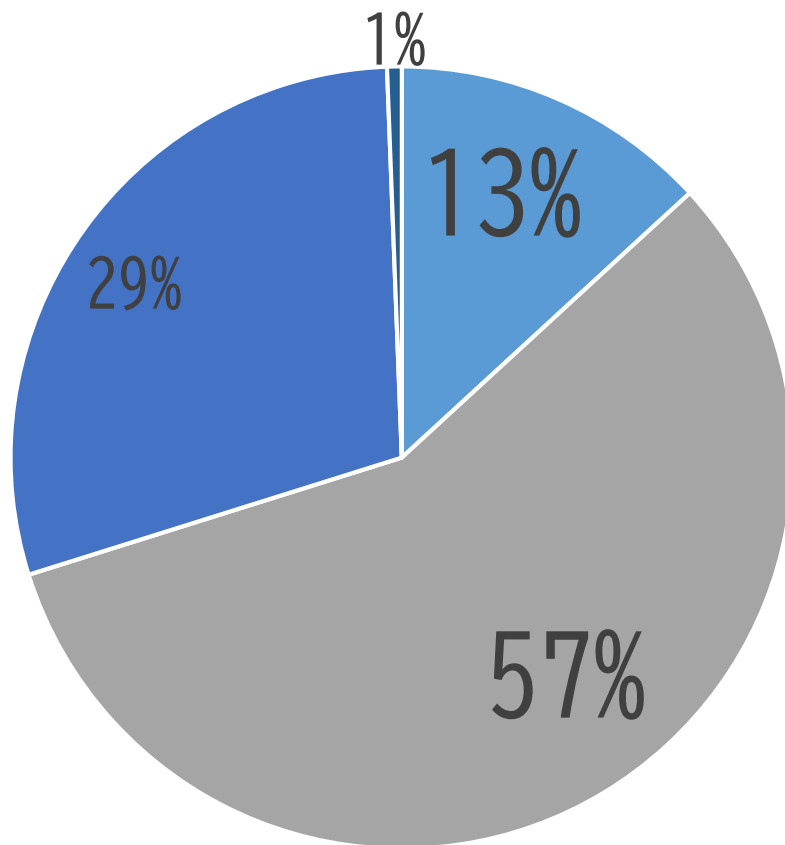
・「効果的な教育活動」は子ども中心に考えられるべき
・教員の意識改革も必要
・真に必要な教育の線引きが不明確 など

7割以上の方が、「働き方改革の目的」が妥当であると回答している。

(5) 学校現場で進めている取組

北海道教育委員会の方針を踏まえ、多くの学校現場では「真に必要な教育活動を効果的に行うこと」を目指して、業務改善を進めています。

地域にある学校やお子様が通われている学校で取り組んでいる業務改善の内容について、どの程度ご存じですか？



- よく知っている
- 少し知っている
- わからない
- その他

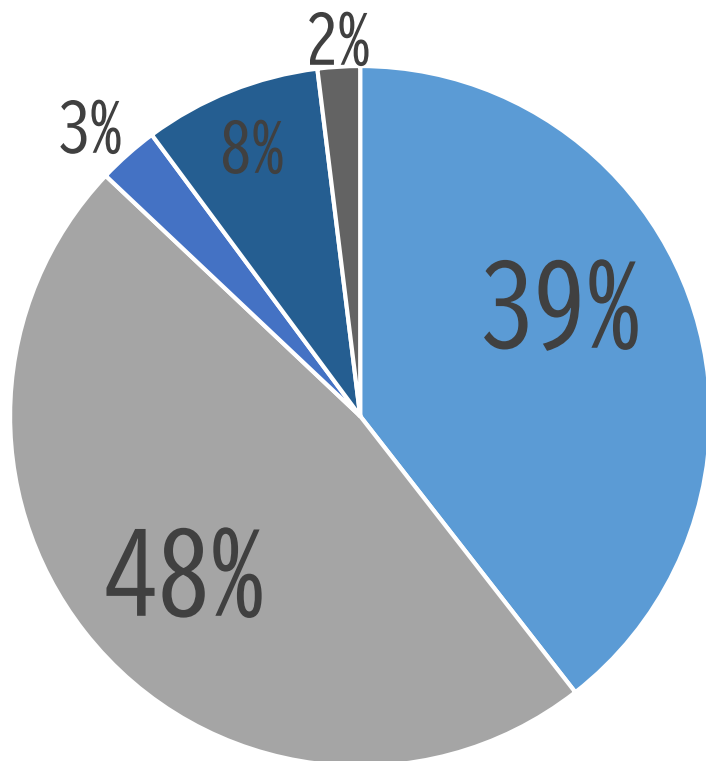
・実践しているように見えない
・新型コロナ対応のため、情報が入ってこない
・ほとんどの保護者は知らない など

約7割の方が、学校現場で進めている取組について、「よく知っている」または「少し知っている」と回答。一方で、約3割の方が、「わからない」と回答している。

(6) 学校行事など地域等と関わりのある業務の見直し

学校では、真に必要な教育活動を効果的に行うため、優先度の高い業務に集中して取り組むことができるよう、学校行事など家庭や地域の皆様と関わりのある業務についても見直しを行う場合があります。

このことについて、あなたはどのように考えますか？



- 学校の機能を高めるため、積極的に取り組むべきだ
- やむを得ないが、できるだけ保護者や地域と話し合いながら進めて欲しい
- 家庭や地域と関わりのある業務の見直しはできるだけしない方がよい

■ わからない

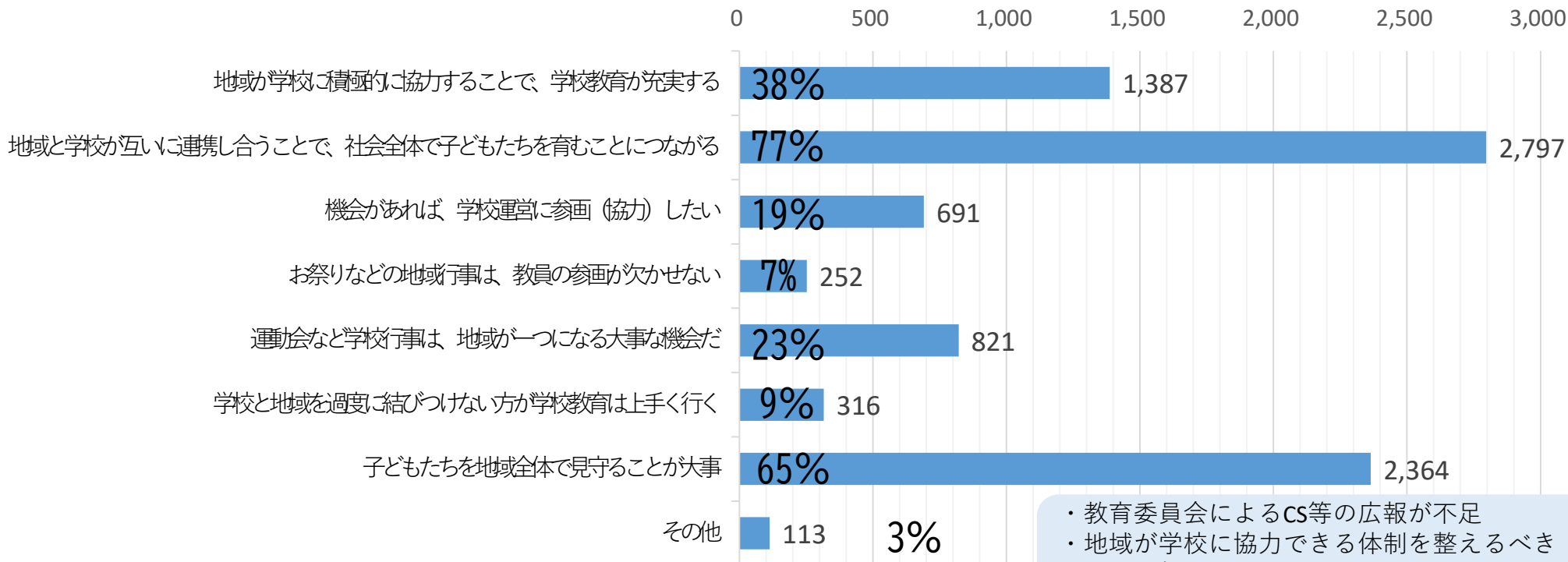
■ その他

- ・何を一番優先するのか基準が重要
- ・行事等を減らすのは反対
- ・都市部と町村地域など地域特性を考慮など

8割以上の方が、「学校の機能を高めるため、積極的に取り組むべきだ」又は、「やむを得ないが、できるだけ保護者や地域と話し合いながら進めて欲しい」と回答している。

(7) 学校と地域との協働（複数選択）

学校における働き方改革は、保護者の皆様や地域の皆様の御理解と御協力が重要です。北海道教育委員会では、地域住民が学校の教育活動を支援する「地域学校協働活動」や、保護者や地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」の導入を進めています。このような学校と地域との関わりについて、あなたはどのように思われますか？



- ・教育委員会によるCS等の広報が不足
- ・地域が学校に協力できる体制を整えるべき
- ・地域に頼るべきではない
- ・互いに無理なく協力すべき など

7割以上の方が「地域と学校が互いに連携し合うことで、社会全体で子どもたちを育むことにつながる」と回答し、6割以上の方が「子どもたちを地域全体で見守ることが大事」と回答している。

(8) 学校における働き方改革に関する意見

学校における働き方改革について、御意見がありましたら、ご自由にご記載ください。

①働き方改革を進めるべき	<p>先生方が元気で生き生きと過ごされていれば、子どもたちにその様子が反映する。明るくやる気に満ちた先生に教わる方が、子どもたちもやる気になる様に思う。先生も健康であればこそ、子どもたち一人一人に向き合い目が向く。過度に働けば集中力も意識も低下する。先生だけが大変な時代は変えなければいけない。(高校生の保護者)</p>
	<p>ワークライフバランスは非常に大切。教職員が崇高な聖職であるという過度な意識は不要。教職員も一人の人間であり、その個々の生き方を圧迫するような働き方は避けるべき。業務における無駄の排除、改善、職場の雰囲気づくりなど考え得ること全てを一気に進める強い動きが必要。そこから捻出された時間を、個人・家庭・地域活動などに充て、心身の安定や成長に繋げて豊かな人生を送る事が、職場での活力と子どもたちの学びへの還元につながる。(小学生の保護者)</p>
	<p>いつも遅くまでお仕事をされている先生方に感謝すると同時に、先生方の生活や体力などを思うと心配。私たち保護者に日々の日常、家庭や子どもとの生活があるのと同様に、先生方にも同じくあり、先生方や学校にばかり負担が掛かるのはおかしい。子どもの基本はまず家庭であり、学校はその補助や協力、そして学習をする場であるべき。働き方改革はもっと推進、周知されて良い。(高校生の保護者)</p>
	<p>先生方が笑顔で生き生きと仕事にあたっている方が、学校内が明るくなり入りやすい雰囲気になる。それが、子どもへの教育を高めることにつながる。地域社会の理解と協力のもと、学校における働き方改革が推進されることに期待。私たちも何ができるか考えてみる必要がある。(地域学校協働活動/CS関係者)</p>
	<p>民間でも多種多様な柔軟な対応、工夫がなされ、改革が求められており、学校の先生方も同じ立場。環境を整えてこそ、先生方自らのスキルアップから子どもたちへの対応に繋がる良い効果が期待出来る。(中学生の保護者)</p>
②子どものことを中心に	<p>働き方改革については賛成だが、それによって子供たちに目が届かなくなる等、いじめなどに繋がらないようにして欲しい。(中学生の保護者)</p>
	<p>先生方一人ひとりの負担を減らす事には大賛成だが、部活動は子どもにとって大切な経験なので、活動時間の短縮や活動内容を軽減するのは避け、子どものトラブルや精神面のサポートもして欲しい。そのためにはもっと人員を増やし手厚い援助をお願いしたい。(高校生の保護者)</p>
	<p>働き方改革で先生方の負担を減らす事には賛成だが、行事等がどんどん縮小されていく事を寂しく思う。学校から地域に移行できる事は移行しながらも、児童、生徒の貴重な経験はなるべく存続できるよう、話し合いながら進めていく事が大切ではないか。(中学生の保護者)</p>

(8) 学校における働き方改革に関する意見

③ 身近な教員に感謝	<p>先生方には、本当に頑張って頂いてありがたく思う。先生方にも子どもが居るのに、土日の部活などに感謝。中2・高2の保護者だが、今まで関わって来た全ての先生にお世話になり、先生の存在が子どもたちに良い影響となっている。若い先生も自信を持って頑張って頂きたい素晴らしい存在。(高校生の保護者)</p>
	<p>先生方の業務は多岐にわたり、とても忙しいのではないかと思う。その中で子どもたちのために頑張ってくださり、ありがたい。時間を短くしたり行事を減らすことだけではなく、任せられることは任せて負担を減らせるようなシステムが必要ではないかと思う。(小学生の保護者)</p>
	<p>いつも先生方にはたくさんお世話になっている。いろいろなことがある世の中、先生方の心と身体の健康が子どもたちに良い影響を与えたいと思う。しっかり休んでリフレッシュして、子どもたちや保護者と関わって欲しい。(高校生の保護者)</p>
④ 行政の一層の努力が必要	<p>働き方改革の推進は必要と思うが、先生方が行うばかりではなく、もっと働きやすいように、魅力的な職場にするように、行政が動いてほしい。(中学生の保護者)</p>
	<p>教職員の皆様はコロナの中、大変苦勞し、頑張っている。国や道、市がもっと先生方の意見を良く聞き、仕事のしやすい環境を整えて欲しい。教育に必要な施設、道具、人材に積極的に投資して、子どもたちの教育を支えて欲しい。(中学生の保護者)</p>
	<p>学校の先生は、誰もが巡り合うという意味でとても重要な職業。その職に就くことに魅力を感じる人が減っていることをたいへん危惧している。国や道としてしっかり分析をして、改善できることは改善して、未来を担う子どもたちのために適した指導者の確保をしっかり行って欲しい。(地域住民)</p>
	<p>今回このように道民から集めた意見と教員本人の意見をしっかりと受け止め、対策を練って欲しい。教員は子どもたちが第一だと思うと、このような声を発しづらいところがあると思うので、働き方について気軽に意見を発する場を設けたり、その意見を真摯に受け止め、しっかりと反映させる意識が、教育委員会や自治体、国に求められている。</p> <p>精神的な病や自殺など、教員自信が苦しめられるような事態が少しでも減って欲しい。そのためには保護者も関わり方を見直す必要がある場合もあるし、教員の業務に支障が出るような保護者への対応を他の機関が協力できるような体制が整うと良い。また、教員がしなくてもよいような仕事(調査協力や、事務作業、手書きへのこだわりや採点など)を別な職員ができるような予算立てなども必要。(小学生の保護者)</p>

(8) 学校における働き方改革に関する意見

⑤ 教職員の増員が必要	<p>教員希望者が激減していることを危惧。ブラックな勤務状況が明るみになり希望が見られない。今の学校の現状では、頑張っている先生方が疲弊する。事務や清掃などの環境整備、部活など、教員でなくてもできるものは人員を増やす予算をつけて対応すべき。もっとゆとりがあるべき。(小学生の保護者)</p>
	<p>業務量はそんなに変わるものではないと思う。教育の質の低下にならないければ良い。教員の数を増やすとか、業務を整理して職員(教員以外)を補充することが必要。行事や地域活動をただ減らすのはどうだろう、と感じる。(中学生の保護者)</p>
	<p>1人の担任だけで全てのクラスメイトの現状を把握するのは難しい。副担任など二人体制で全体を見たら、より安心して子どもたちの生活が送られると思う。義務教育は思春期の大事な時期を含み、成長する上でも生活環境はとても重要だと思うので、1人の教員にクラスを任せるのではなく、周りにフォローできる教員を置いて全体を見てもらいたい。(中学生の保護者)</p>
⑥ 部活動の改革が必要	<p>部活動はスポーツクラブに任せた方がよい。我が子は、小学校6年生でバレーボールを習っているが、中学校にはバレーボール部がない。通っているクラブでは、中学3年生まで見てくれて、部活動と同等の扱いで内申書にも書けるように働きかけてくれている。教員に負担をかけずに、スポーツインストラクターに放課後のスポーツを教えてもらう事は子どもたちにとっても、良い事だと思う。(高校生の保護者)</p>
	<p>部活動などは先生が熱心にやっており大変感謝している。ただ、休日の練習や大会などが続くと、先生のご家族はどうしているのか気になっていた。運動部は特に拘束時間が長くなるので、外部委託も必要になってくるのではと思う。夫婦ともに働いている保護者も多くなり、これからは親の助けも余り期待出来ない時代。(高校生の保護者)</p>
	<p>先生方の働き方改革は賛成ではあるが、部活動を外部指導者に任せることに関しては反対。部活動を通じて「勝つ」「上手くなる」だけではなく、コミュニケーション能力の育成や批判的思考力、課題解決能力の向上は、部活動から得ることが多い。私自身、社会生活の中で、部活動で得たことが役に立つ場面が多かったので、特にそう感じる。生徒の生活面、学習面をよく知っている先生だからこそ、技術だけではなく「文武両道」を教えることができるのではないかと。他の業務面で、ICTの活用や地域の人材を使って欲しい。(高校生の保護者)</p>
	<p>部活動を地域の活動に移行していくことは簡単ではないと思うが、教員の負担を減らし、深刻な教員不足を解消していくためにはどうしても必要なことだと考える。同時に経済的、家庭的に恵まれない子どものスポーツ、芸術に触れる機会を保障できるような工夫が必要。(特別支援学校生徒の保護者)</p>

(8) 学校における働き方改革に関する意見

⑦ 職員間の連携・協力が必要	<p>色んな家庭、親子がいるかと思うが、あまりに学校や先生に個人的な意見や干渉、文句を言う親が多いように思う。「自分の子さえ良ければ」と思う親が一部にいる。そんな親の対応に志のある教員が心折れる姿を見るのは本当に切ない。あまりに道理に外れるようなクレームに対しては、学校教員団結して立ち向かって欲しい、と思う。それがこれからの未来ある教員志望者の希望になるのではと思う。(高校生の保護者)</p>
	<p>早番、遅番のように、授業がない時は学校にいらなくても良くし、朝会や職員会議も全員いらなくても良い仕組みを作ったり。担任を複数人にする事などはどうか。(時間の使い方と責任の分散)</p> <p>総合的には、先生方にはとても感謝。遅くまで勉強する場を提供していただき、いつでも教えてくれる環境を作っていただき、学校行事や部活動などでのびのびと学校生活している子どもを見て、この学校に入って良かったと思っている。どうか、ご自身の時間も大切にしてください。(高校生の保護者)</p>
	<p>チーム学校という言葉聞くものの、実態とは遠くかけ離れている印象。管理職の対応も、他の組織と比較して社会性に欠けることが多い。学校という閉鎖的な空間での職員生活の弊害ではないか。民間のノウハウも入れつつ、時代、社会に適した学校作りが必要。特に、担任一人でクラスの責任をもつ体制を大きく変え、チームで対応できるようにして、責任を分け合うような工夫は必須と思う。(高校生の保護者)</p>
⑧ その他	<p>教員の意識やスキルが古すぎると感じる場面が多々ある。今の時代に全く適応していないのに、勤務時間などの見直しだけを行っても効果がないのではないかと。制度の見直しは否定しないが、教員の意識やスキルをアップデートし、能力を高めた上で、自ら工夫させるという方策も必要なのではないか。(小学生の保護者)</p>
	<p>フレックスタイム制を導入すれば、働き方改革に関する諸般の問題はある程度解決されると思う。多くの民間企業ではすでに取り入れており、学校でもできるはず。教員採用試験の倍率低下は教員の質の低下につながっている。待遇改善をしなければ、これからの北海道を支える子どもたちを指導支援する優秀な教員が確保されない。特に郡部では教員の質の低下は深刻。(小学生の保護者)</p>
	<p>先生方が、精神的に病むほどの仕事量は望まず、楽しく仕事をして頂きたい。時短できる仕事は積極的にしていくべき。ただ、民間で働く人達から見たら甘いと言われても仕方ない部分もある。(中学生の保護者)</p> <p>学校の存在意義は沢山あり、多様な事柄を求めるには便利な場所になってしまっている。地域の存在意義は「助け合いの心」。地域にお任せすることで、地域の道徳的な事柄を学べる。子どもに向き合う時間を大切に、予習・復習ができる環境をきちんと整えて、それ以外の事をデジタル化や、地域・保護者に任せて欲しい。学びが楽しいという事を多くの子どもがわかれば、学校以外の学びの場にも足を運んで地域が活性化し、人との繋がりが増え、未来への可能性が増える。(高校生の保護者)</p> <p>先生方はなぜそんなに忙しいのか？先生の仕事を保護者は分からない。「こういう状況です」というものを、数字だけでなくもっと保護者に伝えても良いのではないかと。お世話になっており感謝しているが、事情も分からず行事や部活が縮小されるなど、残念に感じることもある。仕事の中身を見直すことも当然していると思うが、働き方改革という言葉だけでなく、実情を知った上で協力できたらと思う。(高校生の保護者)</p>